

2026 年 9 月

インドネシア 2026 年上半期の国内新車販売台数:前年同期比 15.9%増加

インドネシア自動車製造業者協会(以下、ガイキンド)は、国内の 2026 年上半期自動車販売台数を発表しました。

1. インドネシア国内自動車販売台数(以下資料はガイキンド資料に基づき作成)

メーカー	2025年1～6月 販売台数	2026年1～6月 販売台数	対前年同期比	2026年1～6月 市場シェア	2025年 販売台数	2025年 市場シェア
トヨタ自動車	123,846	133,928	8.1%	30.7%	250,431	31.2%
ダイハツ工業	64,405	73,545	14.2%	16.8%	130,677	16.3%
スズキ	27,180	36,319	33.6%	8.3%	66,345	8.3%
三菱自動車	32,081	32,588	1.6%	7.5%	71,781	8.9%
中国:BYD	14,092	23,257	65.0%	5.3%	46,711	5.8%
ホンダ	32,681	20,673	▲36.7%	4.7%	56,495	7.0%
三菱ふそう	11,442	17,535	53.3%	4.0%	25,310	3.1%
その他	70,979	98,719	39.1%	22.6%	155,929	19.4%
市場合計	376,706	436,564	15.9%	100.0%	803,679	100.0%

2. 2026 年上半期の振り返り

- (1) 2026 年上半期のインドネシア自動車販売台数は、前年同期比 15.9%増の 436,564 台となりました。
- (2) ブランド別の販売台数では、トヨタ自動車 133,928 台(シェア 30.7%)、ダイハツ 73,545 台(シェア 16.8%)、スズキ 36,319 台(シェア 8.3%)、三菱自動車 32,588 台(シェア 7.5%)と日系メーカーが引き続き上位を占めました。また、中国の BYD は 23,257 台(シェア 5.3%)となり、ホンダを上回る販売台数となりました。
- (3) 中国メーカーの台頭が続く一方、現状は日系メーカーも市場シェアの約 8 割を維持しています。
- (4) 今回の販売増加は、商用車販売が前年同期比 59.3%増の 114,154 台と大きく伸びたことが主な要因です。乗用車販売が同 5.7%増であったのに対し、商用車が市場全体を押し上げる結果となりました。背景には、プラボウオ政権が推進する赤白村落協同組合向け小型トラック需要の増加があるとみられています。
- (5) EV 市場も引き続き拡大しており、BEV(バッテリーEV)の販売台数は 70,093 台、市場シェアは 16.1%となりました。中国メーカーによる EV 販売拡大も続いており、インドネシア市場での競争は一段と激しくなっています。

3. 今後の動向

- (1) ガイキンドは 2026 年の国内自動車販売目標を前年比約 5%増の 85 万台に設定しています。展示会の開催や新型車投入などにより販売回復が期待される一方、金利動向や物価上昇による消費者の購買力については引き続き注視が必要です。
- (2) インドネシア政府は EV および電動バイク向けの新たな景気刺激策を準備していると報じられており、今後の EV 市場拡大を後押しする可能性があります。
- (3) また、BYD は EV に加えプラグインハイブリッド車(PHEV)の展開を強化する方針を示しています。トヨタ自動車も主力ピックアップトラック「ハイラックス」の BEV 版を投入するなど、商用車分野でも電動化が進んでおり、今後の各メーカーの動向が注目されています。
- (4) 引き続きインドネシア国内の自動車販売状況および EV メーカーの動向について発信していきます。

以 上